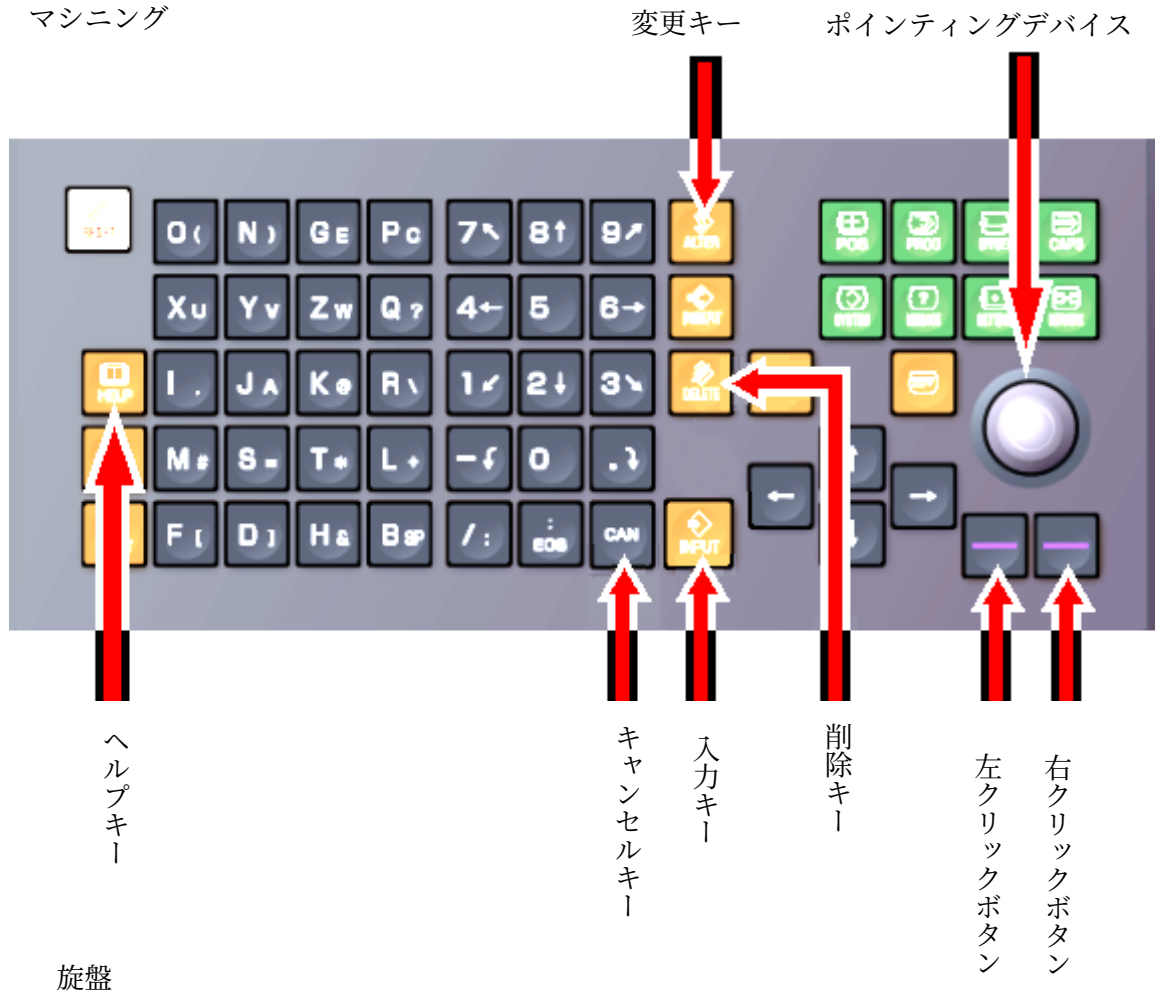


Machine Model:	MAPPS II、MAPPS2			
Title:	MAPPSII での FANUC 製 NC-BOOT 画面操作手順書 FANUC Manufactured NC-BOOT Screen Operation Procedure (MAPPSII)			
Objective:	MSX-501、MSX-502 SRAM			
Publication:	Y/M/D	2005/1/18	Written by	Service center F.Yoshida

MAPPSII での FANUC 製 NC-BOOT 画面操作手順書

キーボードのキー名称	2
マシニング	2
旋盤	2
手順	3
1.準備	3
2.BOOT 画面の出し方	3
3.サービスモードの設定方法	4
4.入出力先の設定	6
5.NC ソフトのロード	9
6.SRAM の入力（リストア）	11
7.NC ソフトの削除	13
8.メモリクリア	14
① IPL 画面説明	15
② メモリクリア	17
9.BOOT 画面終了	19
10.NC ソフトのバックアップ	21
11.SRAM のバックアップ	23

キーボードのキー名称
マシニング



旋盤



手順

1.準備

HSSB ケーブルが NC と MAPPSII に接続されていることを確認します。

MAPPSII 表示器前面にあるカードスロットに NC ソフトをコピーしたカードを挿入します。

2.BOOT 画面の出し方

CNC 側 HSSB ボードのロータリースイッチを 0 にします。

①ロータリースイッチ (SW1) について

ロータリースイッチの位置は図 1 の SW1 です。

また、図 1 の SW1 がないタイプのものがあります。

その場合は HSSB ボードを CNC から抜いてボード中央を確認下さい。

ボード中央にある SW1 が同様の機能を果たします。

②BOOT MENU 表示について

ロータリースイッチ (SW1) の設定値が 0 以外の場合は

BOOT MENU が表示されませんので SW1 を 0 にしてから電源投入して下さい。

作業終了後はロータリースイッチを元に戻して下さい。

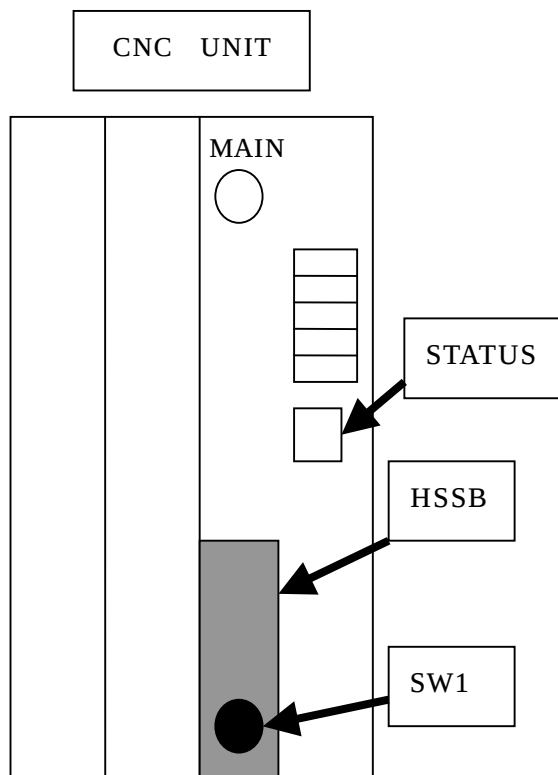


図 1.

3. サービスモードの設定方法

※NC ソフトのリード、SRAM のリストアを行う際は必ずサービスモードに設定して下さい。

電源を投入後、図 2 のウィンドウが表示されます。

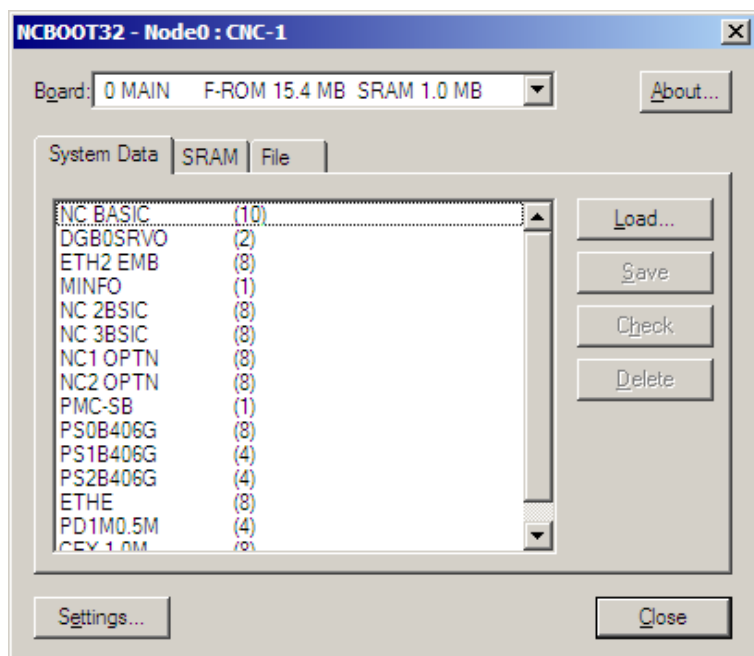


図 2.

ポインティングデバイスでマウスポインタを“ About ”に持っていき、左クリックします。

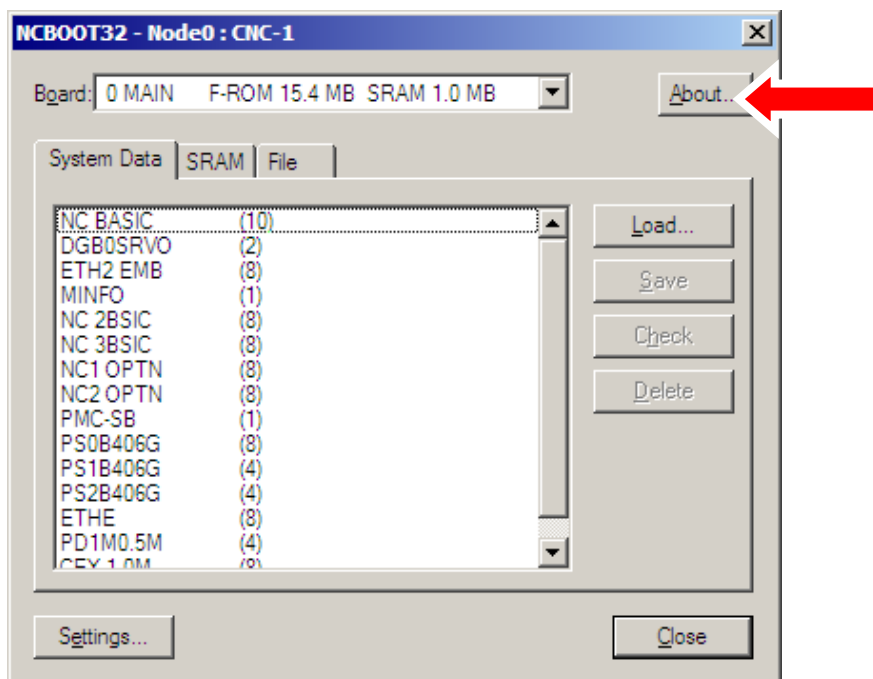


図 3.

図 4.のウィンドウが立ち上がりますので、“S”キーを押してください。

サービスモードになり、NCソフト等のNCのシステムソフトをバックアップすることが可能になります。

もう一度“S”キーを押すと“Service mode”表示が消え、サービスモードを解除できます。



図 4.

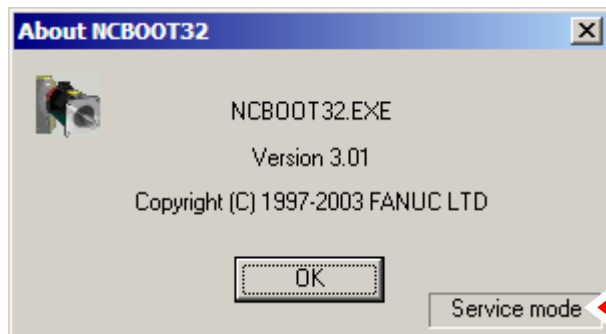


図 5.

サービスモード中は
“Service mode”と表示されます。

マウスポインタを“OK”に持っていき左クリックしてウィンドウを閉じます。

4.入出力先の設定

カードの入出力先を設定します。

※初期値は E: で設定されています。前面のカードスロットは E ドライブです。

※入出力先を変更する必要がある場合は設定する必要はありません。

※変更後電源再投入で自動的に E : へ戻ります。

マウスポインタを “ Settings ” を左クリックします。

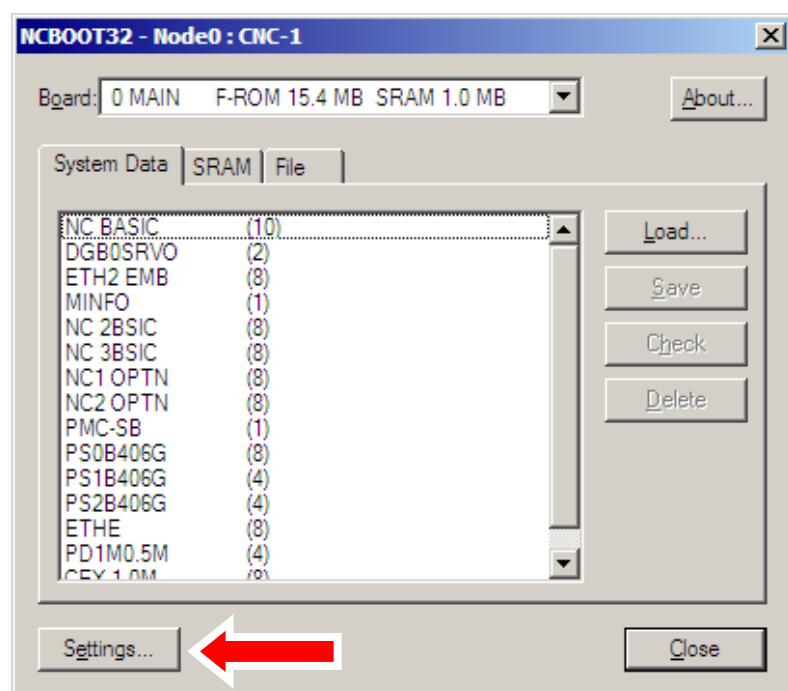


図 6 .

下記ウインドウが開きます。

“ … ” を押して入出力を行いたいフォルダを設定します。

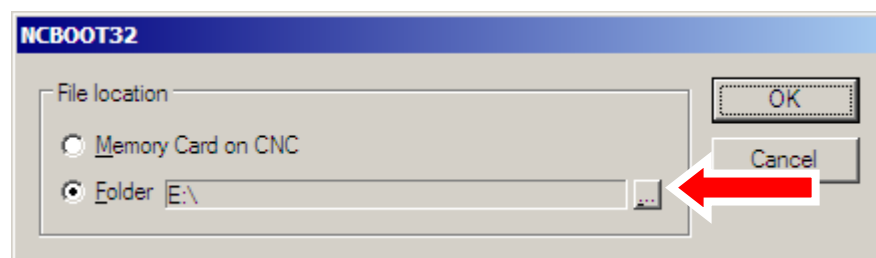


図 7 .

…を押すと図 8 . のウインドウが開きます。

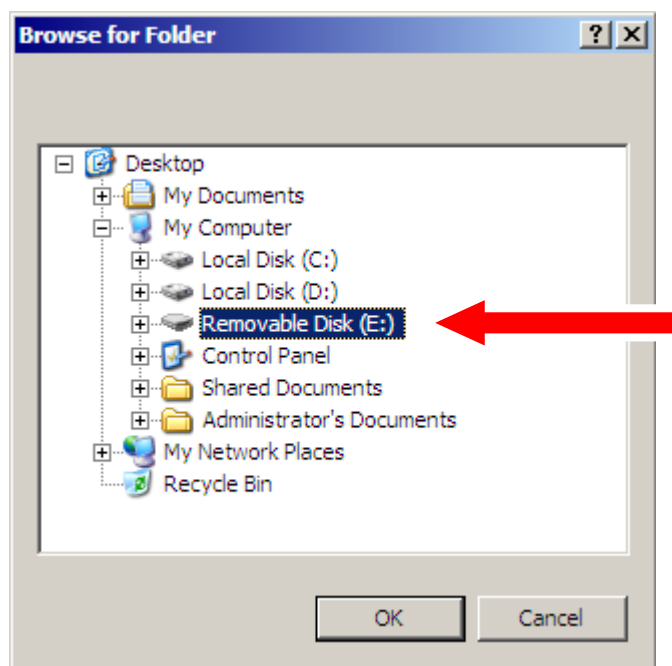


図 8.

マウスポインタを移動し入出力を行うフォルダを左クリックすると、フォルダが反転します。マウスポインタを“OK”に移動し左クリックします。



前面カードスロット

カード内にフォルダがあるときは
[+]をクリックすればフォルダを
開きます。

図 9.

図 9.の画面が閉じ、選択されたフォルダ名が表示されます。

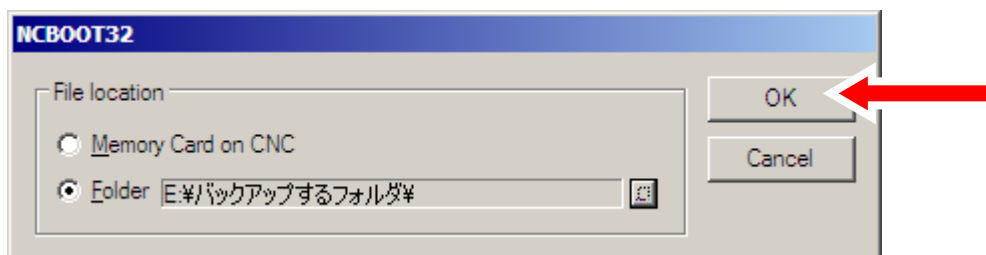


図 10.

OK にマウスポインタを移動し、左クリックすると図 10.の画面が閉じます。

5.NC ソフトのロード

NC ソフト、PMC ソフト等の NC に組み込むソフトのロードを行います。

<注>NC ソフトは図 11 のウインドウ上で下表のソフトの有無を確認してから、該当するソフトをロードしてください。（搭載 NC の仕様でソフトの数異なります。）

ウインドウで表示されるソフト名	ロードさせるソフト名
NC_BASIC	**** b1.enc
NC_2BSIC	**** b2.enc
NC_3BSIC	**** b3.enc
NC1OPTN	****a1.enc
NC2OPTN	****a2.enc
NC3OPTN	****a3.enc
NC4OPTN	****a4.enc

ウインドウに表示していないソフトをロードしたり、表示しているのにロードしなかったりした場合、NC が立ち上がらなくなります。

間違えた場合は手順 7.で該当ソフトを削除できます。

客先で行う場合は、念のためにロードする前に手順 10 ですべてのソフトのバックアップを取ってください。

マウスポインタを“ Load ”に移動して左クリックを押します。

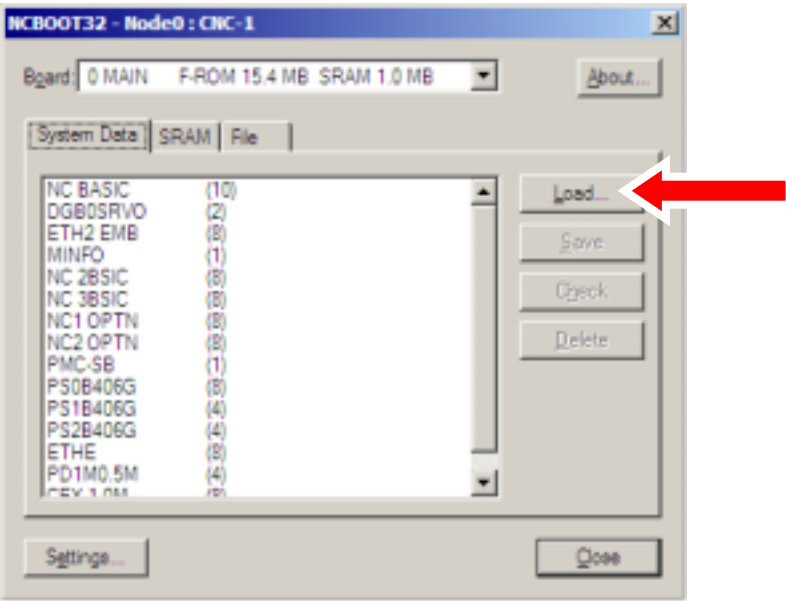


図 11.

図 12.のウィンドウが開きます。設定したフォルダ内のファイルが表示されますので、マウスポインタをロードさせたいソフト名称に持ってきて左クリックしてください。

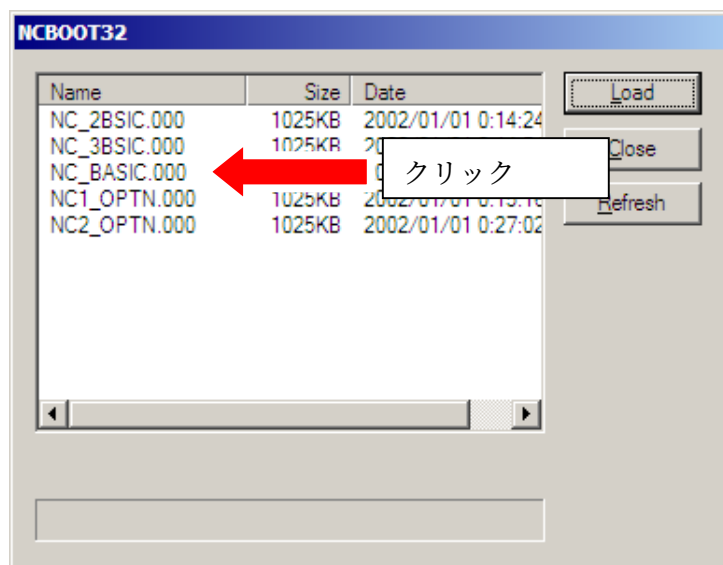


図 12.

図 13.の様にソフト名称が反転されますのでもう一度“ Load ”で左クリックしてください。

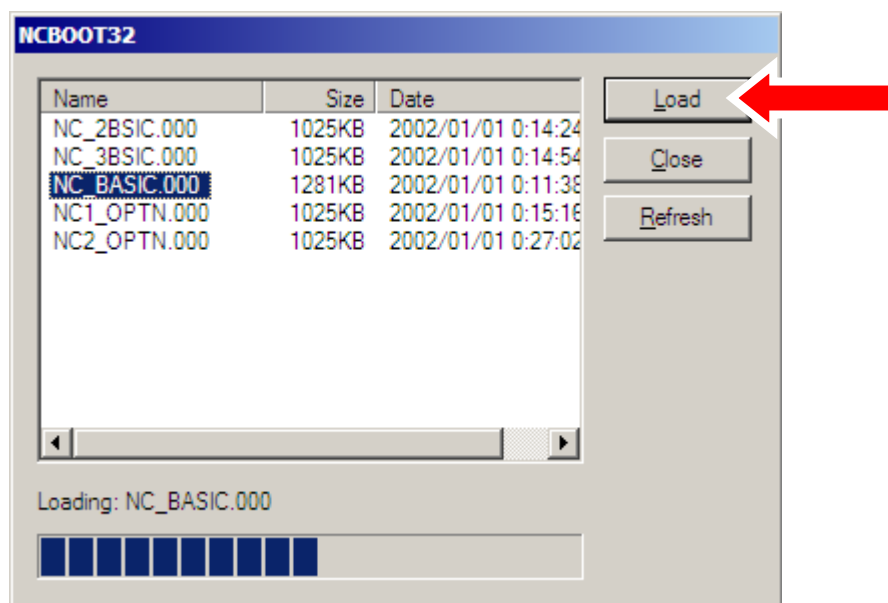


図 13.

読み込み中は図 13.のように Loading:**** (ソフト名) が表示されます。続けてロードを行う時は“ 反転 ” “ Load ” の作業を繰り返してください。

“ Close ” で図 13.の画面は閉じます。

6.SRAM の入力（リストア）

SRAM のリストアを行います。

図 14.の SRAM タブにマウスポインタを置き左クリックすると図 15.のウインドウが表示されます。

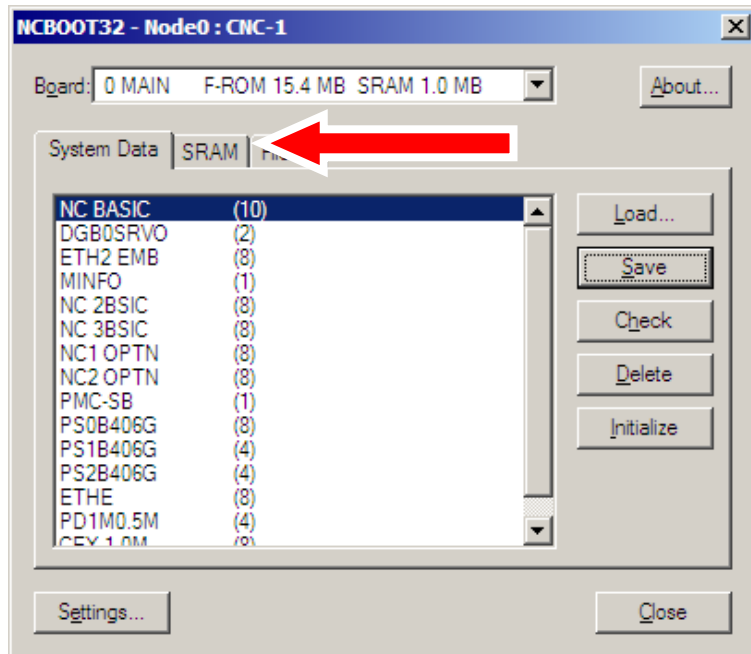


図 14.

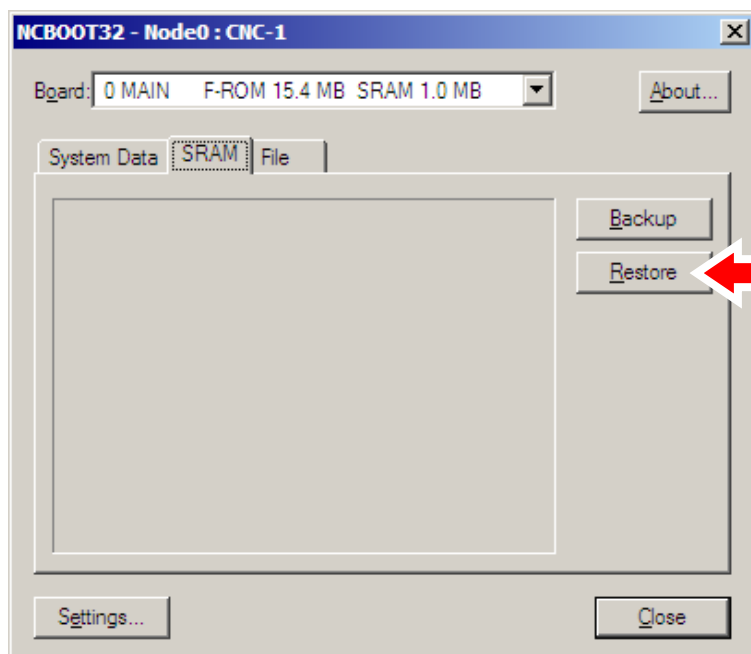


図 15.

“ Restore ” を左クリックすると、図 16.が表示されますので “ Yes ” を選択してください。

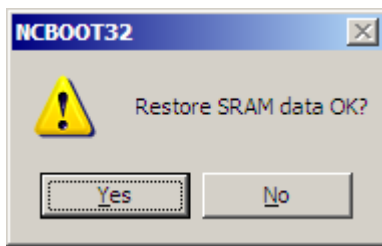


図 16.

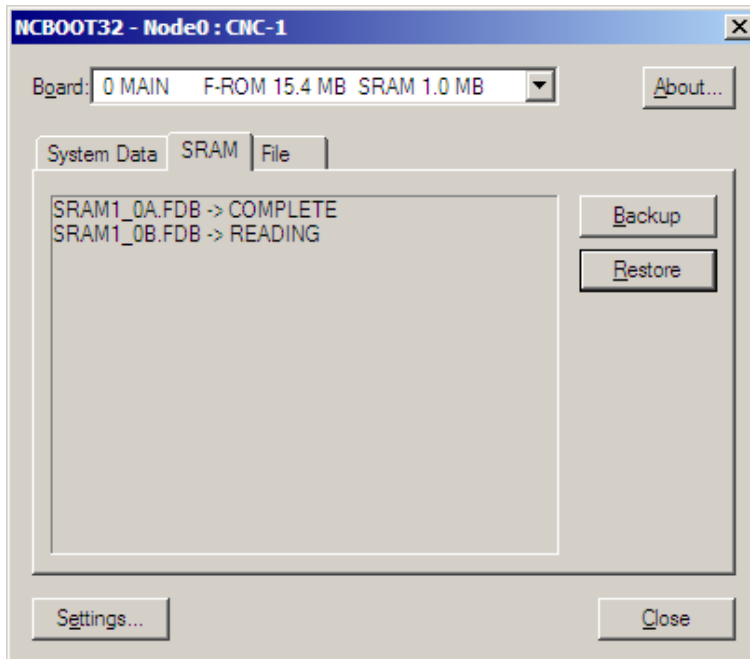


図 17.

図 17.の様にバックアップデータのカードから読み込み中は、“READING”が表示され、NC への書き込みが終了されると“COMPLETE”が表示されます。

全ての SRAM ファイルが“COMPLETE”になったことを確認してください。

7.NC ソフトの削除

NC ソフトの削除を行います。

NC ソフトを削除したい場合は、削除したいソフトの名称にマウスポインタを移動し、左クリックします。ソフト名称が反転します。

マウスポインタを“ Delete ”に移動し左クリックしてください。

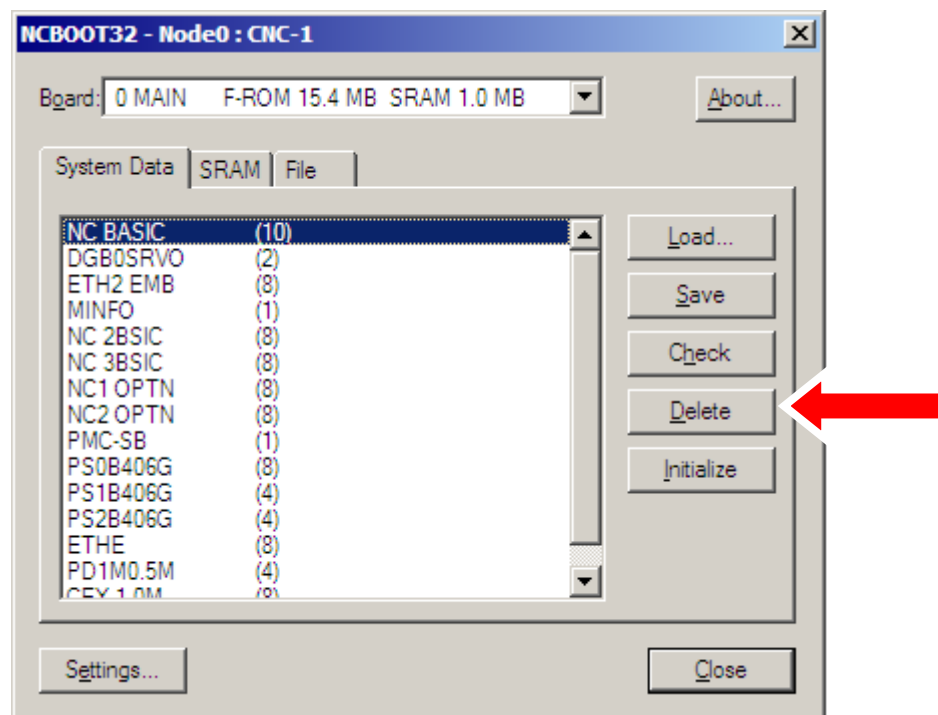


図 18.

図 19.のウィンドウが立ち上がりますので“ はい ”を選択してください。



図 19.

削除されると図 19.のウィンドウが閉じます。

8. メモリクリア

メモリのクリアを行います。

図 20. のウインドウの “ Close ” を押してください。ウインドウが閉じ、図 21. のウインドウが開きます。

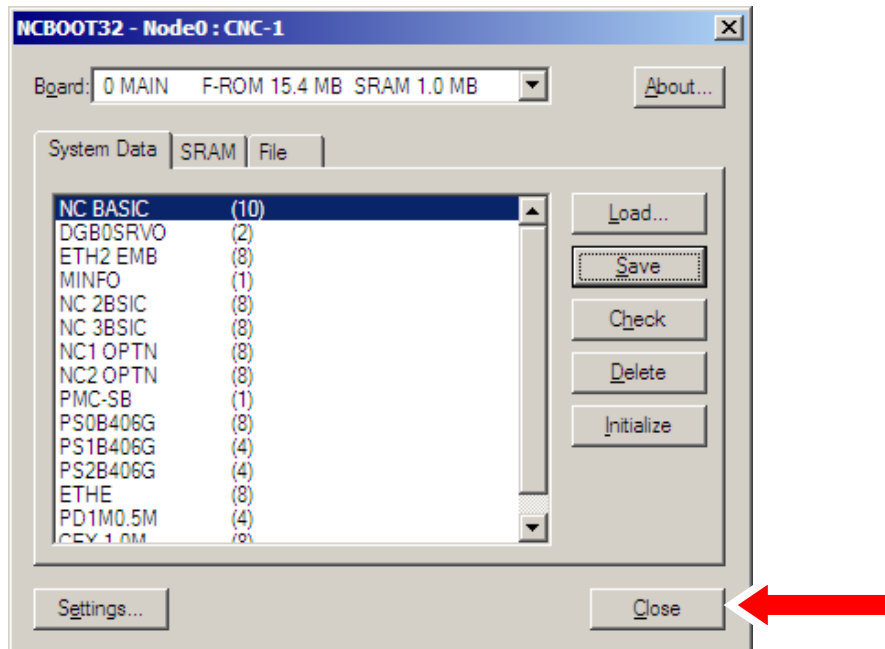


図 20.

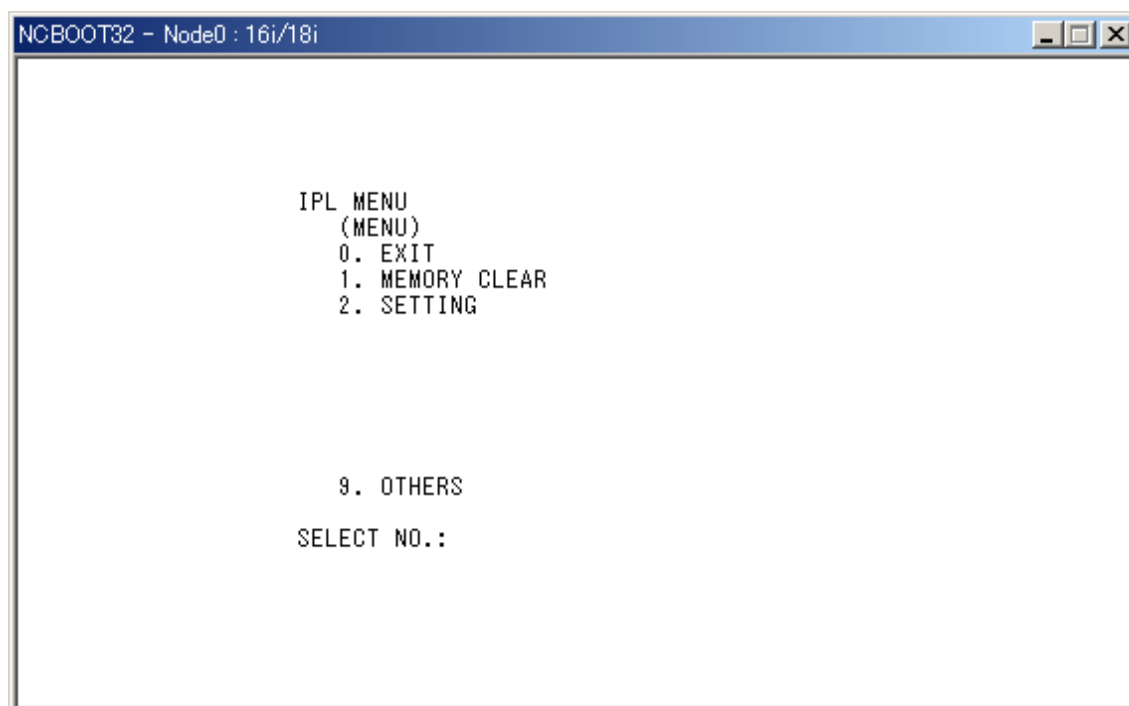


図 21.

① IPL 画面説明

画面に表示されている項目の番号をキーボードより入力して INPUT キーを押すことにより、それぞれ次のようなサブメニューが表示されます。

番号入力に誤りがあった場合は、CAN キーで修正できます。

各機能の内容は以下の通りです。

- 0.EXIT

- 0)No

- ✧ BOOT 画面終了処理を中断します。

- 1)Yes

- ✧ BOOT 画面を終了します。

- 1.MEMORY CLEAR

以下のメモリを消去できます。

- 1.ALL MEMORY

- ✧ a)メモリ全消去。

- ✧ b)系統 2 のメモリ全消去。

- ✧ c)ローダのメモリ全消去。

- 2.PARAMETER AND OFFSET

- ✧ a)パラメータ・オフセットの全消去。

- ✧ b)系統 1 のパラメータ・オフセットの消去。

- ✧ c)系統 2 のパラメータ・オフセットの消去。

- ✧ d)ローダのパラメータ・オフセットの消去。

- 3.PROGRAM

- ✧ a)系統 1 のプログラムの消去。

- ✧ b)系統 2 のプログラムの消去。

- ✧ c)ローダのプログラムの消去。

- 4.ADDITIONAL SRAM

- ✧ a)追加 SRAM 全消去。

- ✧ b)系統 1 の追加 SRAM 消去。

- ✧ c)系統 2 の追加 SRAM 消去。

- 5.PMC

- ✧ a)CNC 側 PMC の RAM の消去。

- 6.CAP- II

- ✧ a)CAP-II サブメモリの全消去。

- ✧ b)CAP-II 標準データストア。

- 2.SETTING

以下の設定ができます。

- 1) オーバトラベルアラームを無視して CNC を立ち上げます。
- 2) ラダーなしで CNC を立ち上げます。
- 3) C 言語エグゼキュータの操作ができます。
 - ☆ a) C 言語エグゼキュータを起動しない
 - ☆ b) C 言語エグゼキュータのシステムアプリケーションを起動する

- 9.OTHERS

以下の設定ができます。

- マクロエグゼキュータを RS232C 経由で CNC にロードします。

- ◇IPL メニューの内容は CNC の系列、版数によって変更される可能性があります。

② メモリクリア

図 22.のウィンドウで“1”キーを入力し、入力キーを押します。

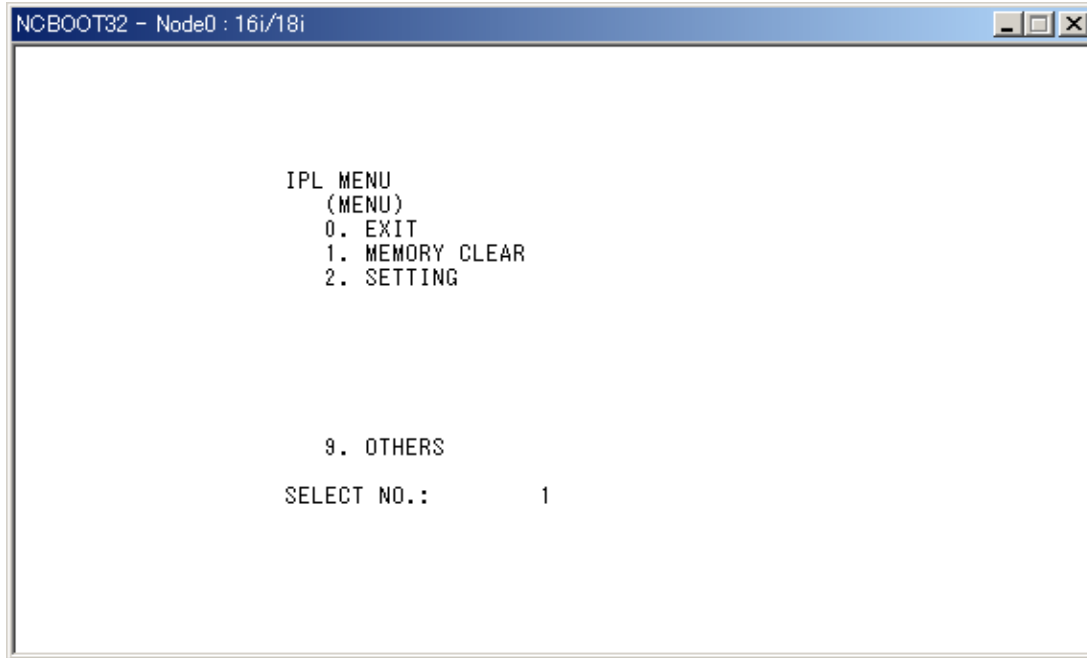


図 22.

図 23.のウィンドウが立ち上がりますのでメモリクリアしたい項目 No.を入力し、入力キーを押します。

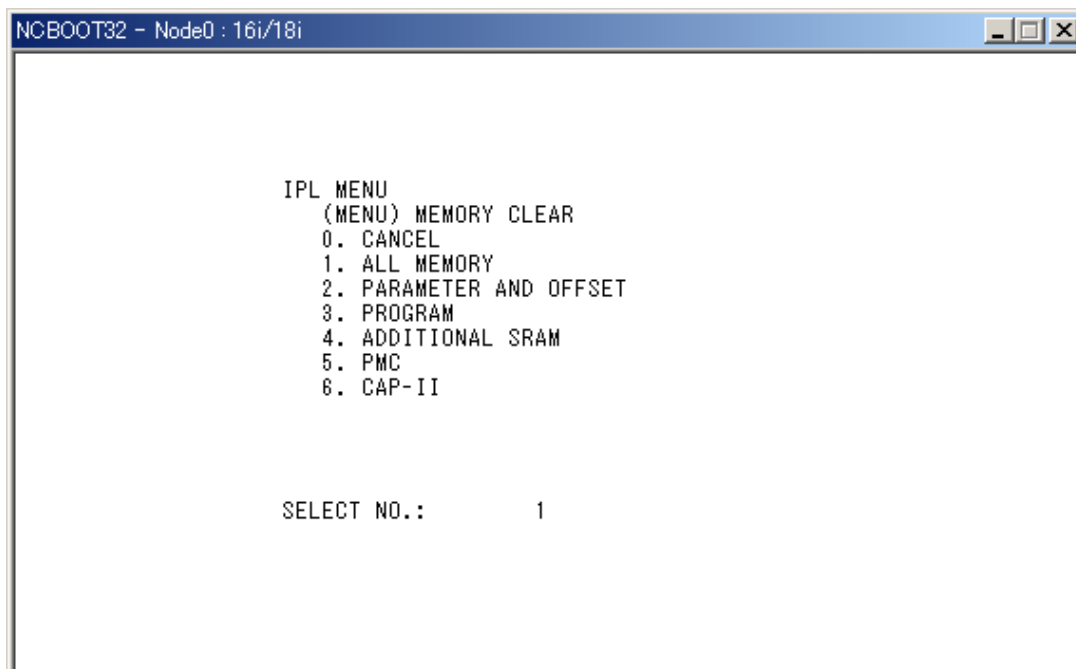


図 23.

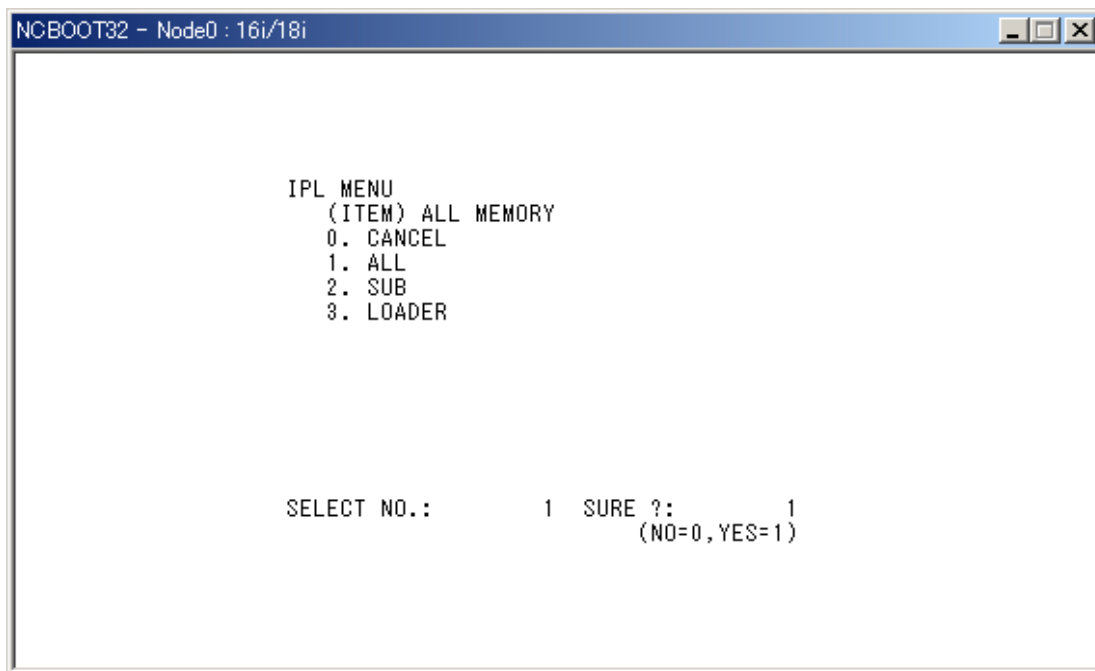


図 24.

メモリクリアしたい系統を選択します。

メモリクリアの確認“SURE?”が表示されますので、実行する場合“1”を入力して入力キーを押してください。



図 25.

図 25.のウィンドウが閉じれば、メモリクリア終了です。

9. BOOT 画面終了

BOOT 画面を終了します。

IPL 画面で“0”を入力して、入力キーを押します。

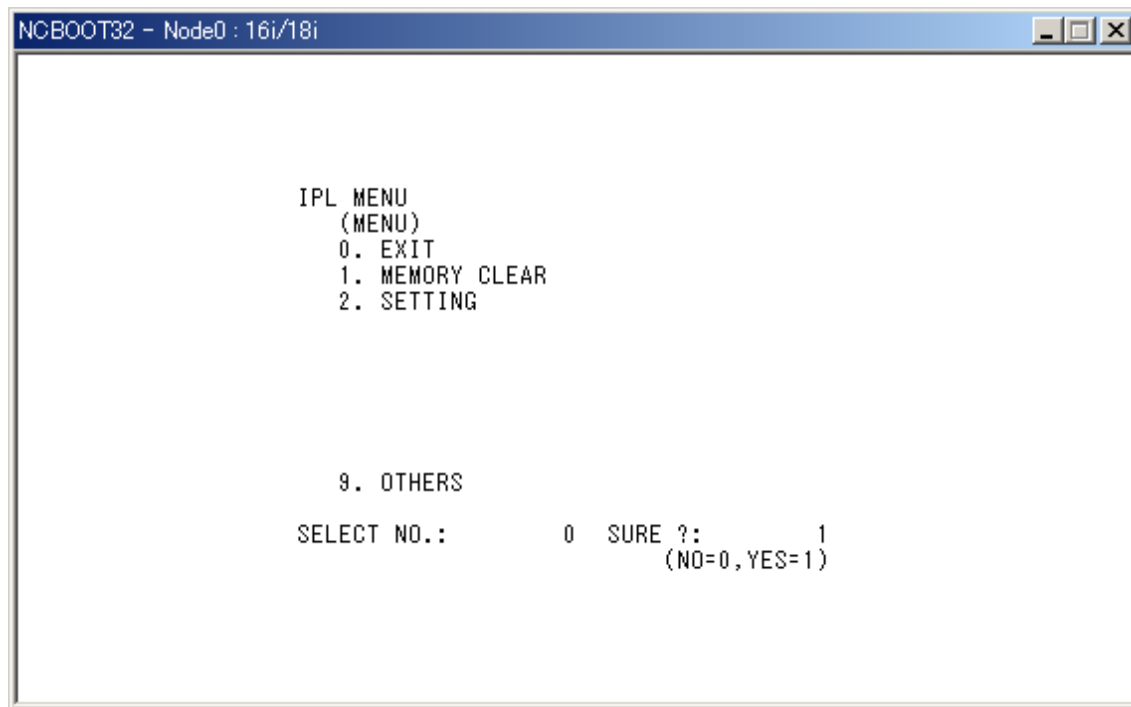


図 26.

IPL 画面終了の確認“SURE？”が表示されますので、実行する場合“1”を入力して入力キーを押してください。



図 27.

図 27.のウィンドウが閉じ、BOOT 画面を終了します。

作業終了後は CNC 側 HSSB ボードのロータリースイッチを元に戻して下さい。

10.NC ソフトのバックアップ

NC ソフトのバックアップを行います。

図 28.でバックアップを取りたいソフトにマウスポインタを合わせ、左クリックすると、ソフトの名称が反転します。

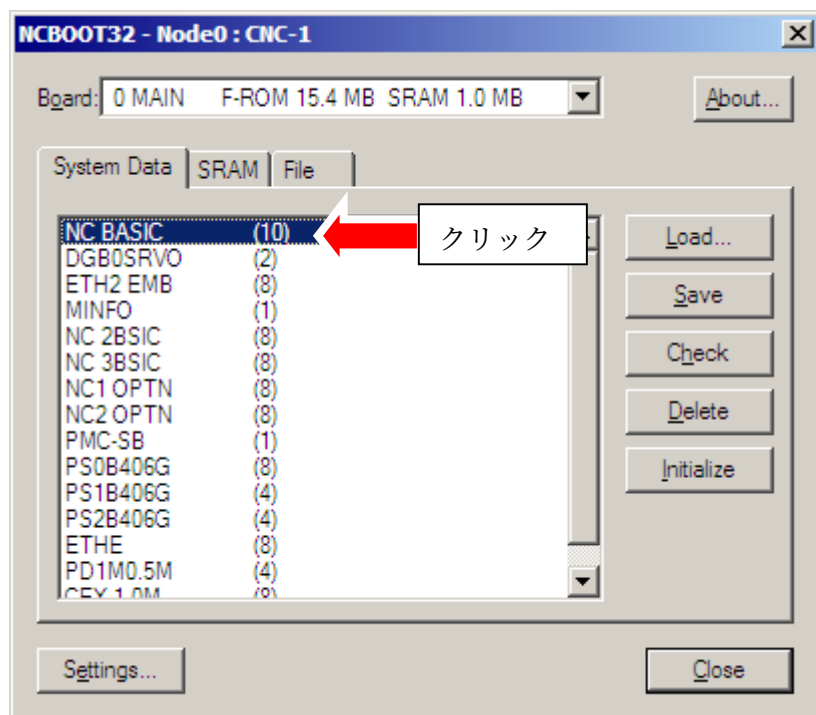


図 28.

“ Save ”にマウスポインタを合わせ左クリックすると、図 29.のウィンドウが表示されますのでOKにマウスポインタを合わせ左クリックします。

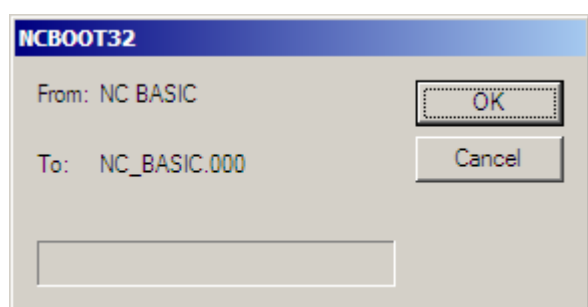


図 29.

図 30.の様にバックアップが実行され、終了するとウィンドウを閉じます。

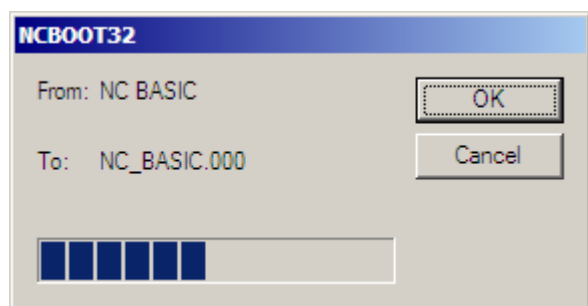


図 30.

バックアップを取りたいファイル全てで手順 10 の作業を繰り返します。

11.SRAM のバックアップ

図 31.の SRAM タブにマウスポインタを置き左クリックすると図 32.のウインドウが表示されます。

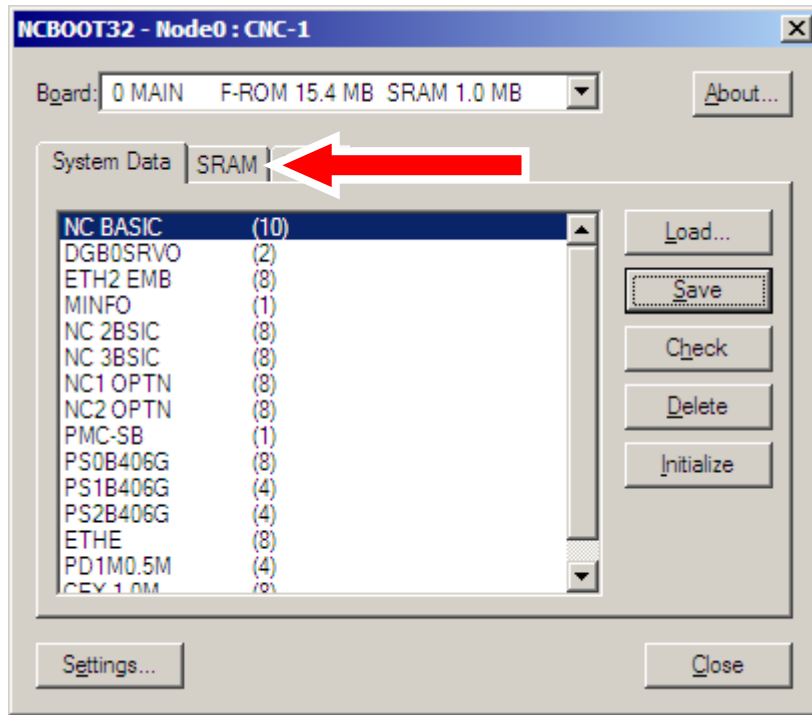


図 31.

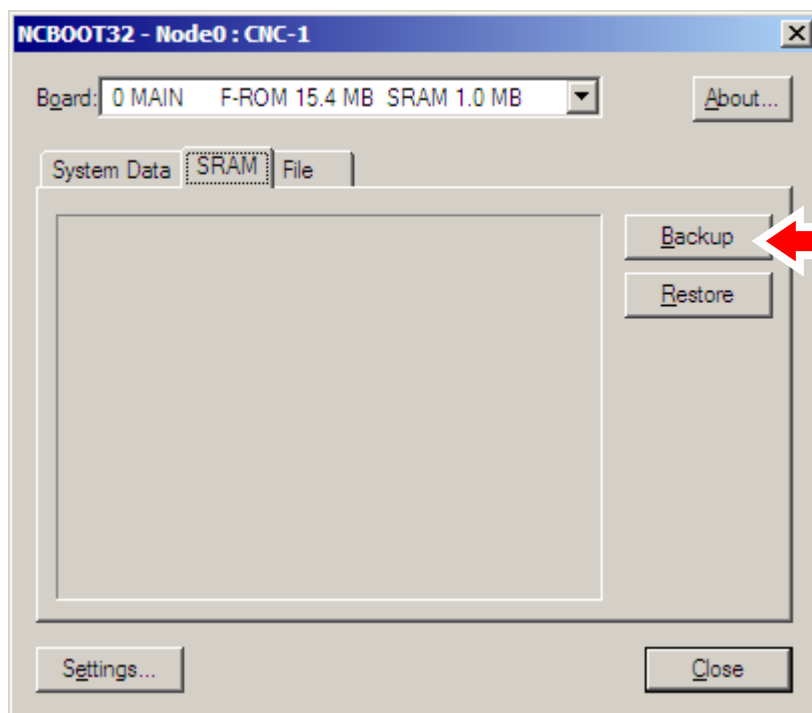


図 32.

“ Backup ” を左クリックすると、図 33.が表示されますので “ Yes ” を選択してください。

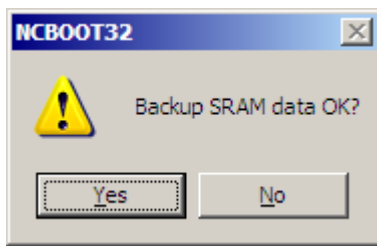


図 33.

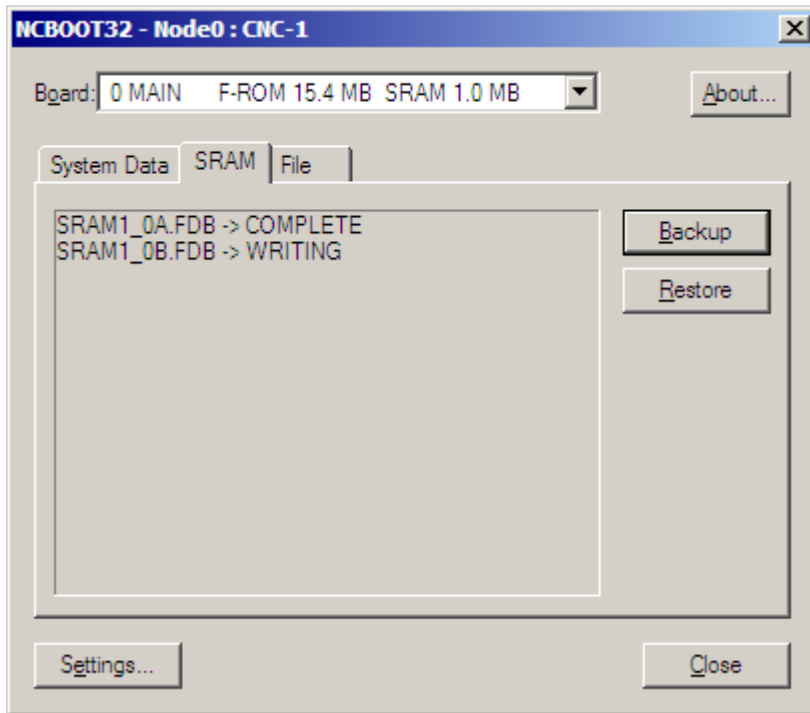


図 34.

図 34.の様にバックアップデータのカードへの書き込み中は、“ WRITING ”が表示され、書き込みが終了されると“ COMPLETE ”が表示されます。

全ての SRAM ファイルが“ COMPLETE ”になったことを確認してください。